

さくらだより



さくら病院

日本医療機能評価機構認定



健·康·通·信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 36



平成という時代が訪れて22年が経とうとしています。さくら病院は以前「江頭病院」と呼ばれており、昭和時代に建てられました。30年近くの間、雨風にさらされながらも時代の波を乗り越え、凛とした姿で地域に大きな根を広げています。又、同時に沢山の患者様やご家族、私たち職員の人を受け止めてくれています。最近ではモダンな造りのクリニックや老朽化から建て替えされる病院も増えてきており、建物の構造面・利便性の点でご不自由をおかけ致しておりますが、看護対応の面でカバーしていきたいと思っています。

外来では様々な健康診断を致しておりますが、通常の外来業務と並行して健康診断業務を行っておりますので「体制がなっていない。」との叱責を頂戴することも有り、ご指摘事項の改善に努めております。

反面「この看護師さんは親切だから、職場の人に健康診断はさくら病院で受けるように言っといたよ。」と仲間を連れて来て下さった方もいます。さくら病院を「こはまるで京都のようだ。」と言われた方もいます。外見は古いけれど、中身は綺麗に整えてあるからだそうです。長年通って来て下さる患者様の温かい声が私たち職員を支えてくれています。これからも地域の皆様の心強い味方でいられるように、二期一会の精神を忘れることなく誇りを持つて病院の歴史を繋げて行きたいと思っております。



外来師長
中野 真弓

新任のごあいさつ



岩崎敬雄

6月1日より、さくら病院にお世話になっております。専門はリハビリテーション医学と整形外科です。昭和45年、鹿児島大学卒業後、九州大学整形外科入局し、昭和49年より平成20年3月まで福岡大学病院に勤務いたしました。この間

に福岡市医師会理事会で江頭啓介先生と御一緒させていただいたことがあります。さくら病院は内科系疾患を中心とした病院ですが骨関節疾患(腰痛や膝痛など)を合併した方や、廃用性疾患でリハビリを必要とされる患者さんが多くみられます。主治医やリハビリスタッフと連絡をとりながら自分の専門知識をいかして少しでもお役にたてればと願っています。よろしくお願いします。

趣味は野球、ゴルフ、山登り、ウォーキング、野菜作りと体を動かすことばかりです。芸術的なことや脳を使う趣味も始めねばと思っています。



知念正明

6月1日よりお世話になっている知念と申します。沖縄県出身ですが福岡市に住んで20年以上になります。以前の勤務地が福岡県筑後地区で単身赴任でしたので、さくら病院に勤務でき家族も喜んでいました。専門は一応消化器内科ですが内科一般も担当しています。

また当院は日本消化器内視鏡学会指導施設であり、専門医を取得したいと思っていますのでご指導よろしくお願いします。趣味は学生時代と卒後しばらくは弓道をしていましたが、現在はドライブやウォーキングにて四季折々の草花を見る程度です。さくら病院は内科救急医療から慢性期疾患・リハビリテーション・緩和ケア・在宅医療まで、連続性のある幅の広い医療を展開していますので、研鑽を積み重ね地域の皆様方のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



大門裕貴

2010年4月より、さくら病院に勤めさせていただいています大門裕貴(オオカドユウキ)です。2009年の4月に福岡大学筑紫病院消化器科に入局したばかりの医師4年目の若輩者です。去年1年間は筑紫病院の消化器科として勤務しており、消化器以外

の疾患を見る機会が少なく、今年4月より脳卒中や肺炎や心筋梗塞など消化器科以外のあらゆる全身疾患を、勉強しながら経験させていただき日々新しい発見の中、楽しく仕事をしております。去年1年間と比べると持ち入院患者数も2~3倍にふえ、検査・外来・訪問診療と並行して急性期の病棟業務を行い、バタバタしていますが毎日が楽しく充実した日々を送っております。

入院中の患者さんには、僕の名前大門はオオカドには読めないらしく、ダイモン先生と呼ばれています。とくにおばあちゃんに人気です。忙しい中にも患者さんとのふれあいを第一に考えながら診療しております。

まだまだ未熟者と言うにもおこがましいほどの未熟者ですが、さくら病院の医療向上につながるよう誠心誠意、全力で頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。



宮崎正史

4月よりさくら病院にやってまいりました、宮崎正史と申します。よろしくお願い致します。九州大学病態機能内科学に所属しており、内科、特に胃腸科を専門としています。

日本では、胃癌になる人が他の国に比べ非常に多いのですが、最近は早期に発見される人が増え、胃癌で亡くなる人は徐々に減っています。これは胃のバリウムでの検査や内視鏡による検査を受けられる方が多くなったためと考えられています。

一方大腸の場合は、大腸癌になる人が年々増えてきており、大腸癌で亡くなる方も増加しています。大腸癌の場合、大腸のバリウムの検査、内視鏡の検査を受ける方がまだまだ少ないため、進行癌で見つかっている方が多いためではないかと言われています。

さくら病院では私は、検査も行わせていただいています。通常の診療に加え、胃腸の病気で亡くなる方が1人でも少なくなるよう、予防事業にも貢献できたらと考えています。

さくら病院では、

毎年多くの実習生を受け入れています。

平成18年から平成19年にかけて、中小病院では深刻な看護師不足がございました。平成18年4月の診療報酬改定で導入された、7対1看護体制の影響でした。

日本は今後10年以上、若年労働者数が減り続けるといわれています。病院は、労働集約的産業です。このまま若い人たちが受け入れることができなくなったら医療業界は、どうなってしまうのでしょうか。

あの看護師不足の事態が全部の職種で常態化することを想像すると怖い気がします。

一方、私たち職員にとって実習生を受け入れることは、「自分たちが行っている業務の説明をすること、教えることで日ごろの気づけに行っていることにチェックの目を向けて、その意味を再確認できる」という面があります。昔から言われているとおり「教えることは、もともと学ぶこと」だということです。

さくら病院では、他の医療機関と同様に「医療に携わる事の誇りややりがい」を後輩達に伝えていきたいと思っています。

学生さんたちには、実習を通してさくら病院を身近に感じてもらい、将来、是非、さくら病院で一緒に働く仲間になつてもらいたいと思います。



福岡大学医学部M3院外研修の風景
左から院長・(研修生)西尾慎祐さん・園田絃子さん・吉瀬師長

平成22年度

「さくらフォーラム」を開催

梅雨の時期、雨に洗われてあじさいの色が鮮やかな季節のなかで、第12回となります「さくらフォーラム」が、平成22年6月18日(金)にタカクラホテル福岡で開催されました。日頃から、病診連携で各診療所・病院の先生方に大変ご指導・ご協力をいただいておりますので、今年も開催のご案内をいたしましたところ、多忙にもかかわらず大勢の先生方にご参加頂きました。誠にありがとうございます。

また懇親会では、多職種の方が集まりいろんな情報交換ができて楽しい時間を過ごされました。今後は、医療機関の選別が進む中で診療所・病院とそれぞれが自らの担う機能を明らかにしつつ地域で連携していくことが求められていますので、地域住民の方に安心した医療・介護を提供できるように「顔の見える連携」に取り組んでいきたいと思っています。今回の開催に多くのご協力をいただきました。まして有難うございました。



平成22年の実習・研修受け入れ一覧

実習元学校	受入部署	日程	人数
福岡市医師会看護学校高等課程 准看護師科実習	看護部	H22.1.12~3.5、 H22.5.24~12.10	6名
九州リハビリテーション大学 理学療法科長期実習	リハビリテーション科	H22.1.18~3.27	1名
刈上医療福祉専門学校2年生実習	診療情報管理課	H22.2.8~3.5	1名
中村学園大学臨床栄養実習	栄養科	H22.2.15~2.26	2名
九州リハビリテーション大学 理学療法科長期実習	リハビリテーション科	H22.4.19~6.25	1名
九州大学病院卒後臨床研修	医局	H22.5.6~6.6.8.2~9.5、 10.4~10.31	3名
福岡大学 薬学部5年生 長期実習	薬局	H22.5.17~7.30、 H22.9.6~11.19	2名
福岡医療秘書福祉専門学校	医事課	H22.6.14~7.9	1名
福岡医療専門学校 理学療法士臨床実習	リハビリテーション科	H22.6.21~6.24	1名
日本赤十字九州国際看護大学 総合看護学実習	看護部	H22.7.1~7.8	2名
福岡大学医学部M3院外研修	医局	H22.7.5~7.6	2名
久留米大学認定看護師実習	看護部	H22.9.6~10.8、 H22.10.4~10.8	2名
福岡大学医学部 看護学科総合実習	看護部	H22.7.12~7.14	2名
片江中学校社会人体験学習	看護部	H22.9.14~9.15	3名

「コンピューター断層画像診断装置」

CT装置

更新しました。

平成22年4月、CT装置をSDCT（シングルCT）から16列MSCT（マルチCT）に更新しました。名前通り、以前の機種は1回転のスキャンで1枚の断層画像しか撮影できませんでしたが、新機種は最高16枚の画像を撮影することができます。更にスキャン回転速度も上がったため、1分以上必要だった胸から骨盤までの撮影が20秒前後と短縮されました。画像の解像度、スライス厚がより細くなり0.5mmまでの撮影や高解像撮影もできるようになりました。

データを解析するソフトウェアの進歩は著しく、水平方向ばかりでなく縦方向の断層面の画像化や水平方向の画像を数十枚から数百枚重ねて立体的に3Dイメージ化など様々な画像を作成できるようになりました。造影剤を用いて検査すれば写真のように血管だけを抽出して画像にすることもできます。その他にさくら病院ではオプションで脳血流解析ソフト、腹部内臓脂肪測定ソフトを導入しました。脳血流検査では造影剤を用いて脳血流量を解析し脳梗塞を起こしそうな部位を予測します。腹部内臓脂肪測定検査はおなかのへその部位の1枚のCT画像から皮下脂肪に対する内臓脂肪の割合を解析しメタボリック症候群か否かを判別します。

詳しいことが知りたい方は御気軽に診療放射線技師に質問してください。



さくら病院保育所では、7月が近づくと保育所中が七夕飾りでいっぱいになります。玄関の壁や保育室の壁、天井におり姫とひこ星や笹飾りが沢山あふれます。大きな笹には、子ども達一人一人の願い事を書いた短冊を飾ります。子ども達は毎年七夕を楽しみにしており、大きな笹を見ると「七夕だ」「ぼくの短冊どれ?」「わたしの短冊どれ?」と大興奮で保育士達に話しかけてきます。七夕の絵本を読んだり、七夕の歌を歌ったりと、とても楽しい一時を過ごします。「おり姫様とひこ星様は七夕の日に会えるんだよ」と子ども同士で話しているのを聞くと



心温まる気持ちになります。七夕の夜は、ぜひ子ども達と一緒に夜空を見上げて、親子の会話を楽しんでほしいと思います。

●開放型病院登録医療機関ご紹介●

外科・整形外科・リハビリテーション科・消化器内科・麻酔科・スポーツ外来
にしんのクリニック



院長 西野 雅博 先生

〒814-0104
福岡市城南区別府4-1-25
(あさひ幼稚園の向かい。宮脇小児科医院あと。)
TEL 092-834-5898
<http://www.nishino-c.com>

皆様、はじめまして。2010年4月1日に、城南区別府で開業しました西野と申します。40年以上、地域の小児科医療に貢献されてこられた宮脇小児科医院閉院後、その診療スペースをお借りして開業させていただきました。

当院は、無床のクリニックですので、急に入院が必要になった患者様や、詳しい検査や治療が必要な患者様を快く受け入れていただき、江頭院長先生はじめ、さくら病院の皆様には大変感謝しております。

私は、地域のかかりつけ医として、住民の方々に気軽に体のことを相談していただけるようなクリニックを目指し開業いたしました。

た。風邪や腹痛、首・肩・腰・膝の痛み、切り傷、捻挫・骨折など一般的な疾患は広く診療いたします。検診や予防接種、往診も行っています。

当院で診療した上で、更に精密な検査や治療が必要な場合は、患者様と相談の上、さくら病院をはじめ各医療機関と連携をとり患者様にとって必要な医療が受けられるように心がけています。

私自身、高校・大学・社会人とラグビーをやっていたため、スポーツをがんばっている方の怪我の予防や治療などにも力を入れております。開業して日が浅く、今後ますます病院の皆様にも、色々とお世話になることと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

さくらユニット 院外イベント

気持ちがいい
ですね。^_^

5月12日、さくらユニットでは、植物園に行くイベントがありました(#^_^#)
15分ほどかけて車で移動し、植物園に着くと、きれいな緑が広がっていました。
奥に進むにつれて、きれいな花たちが迎えてくれ、
温室では、おおきなサボテンや、小さな池には、亀が出迎えてくれました。
その中で、お茶を飲み、お菓子を食べながらみんなで話をしました。
そして、きれいな花と一緒に、いろんな場所で写真撮影をして楽しみました。
ちょっと、日差しが強かったですが、ご家族や患者さまから、
「楽しかったね」「気持ちよかったね」と笑顔で言ってもらえたのがなによりです。
「ビールを飲みたい気分やね」とも話され、花を見ながらのビールも、
また、よかったのかもしれないね。
みんなで楽しいひと時がもてたことが、とても思い出に残ってます(^_^)

バラが咲いて
ました～
(#^_^#)

外で飲むお茶も
おいしいね☆



さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付	
	室長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30
		松山 章子		



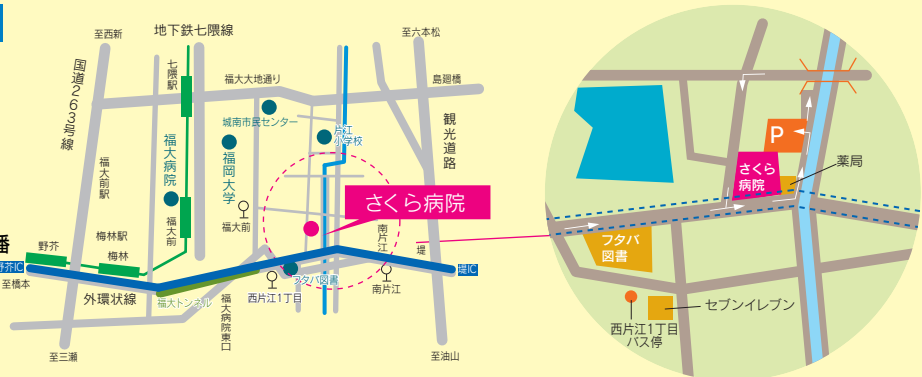
■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	大門 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科	宮崎 内科/胃腸科	知念 内科/胃腸科	辰島 内科/心療内科	井手 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	知念 内科/胃腸科	
専門外来(予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	秋満 循環器外来		石津 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります。)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/> (7月5日ホームページを更新いたしました)

直通TEL

事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615

1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613